

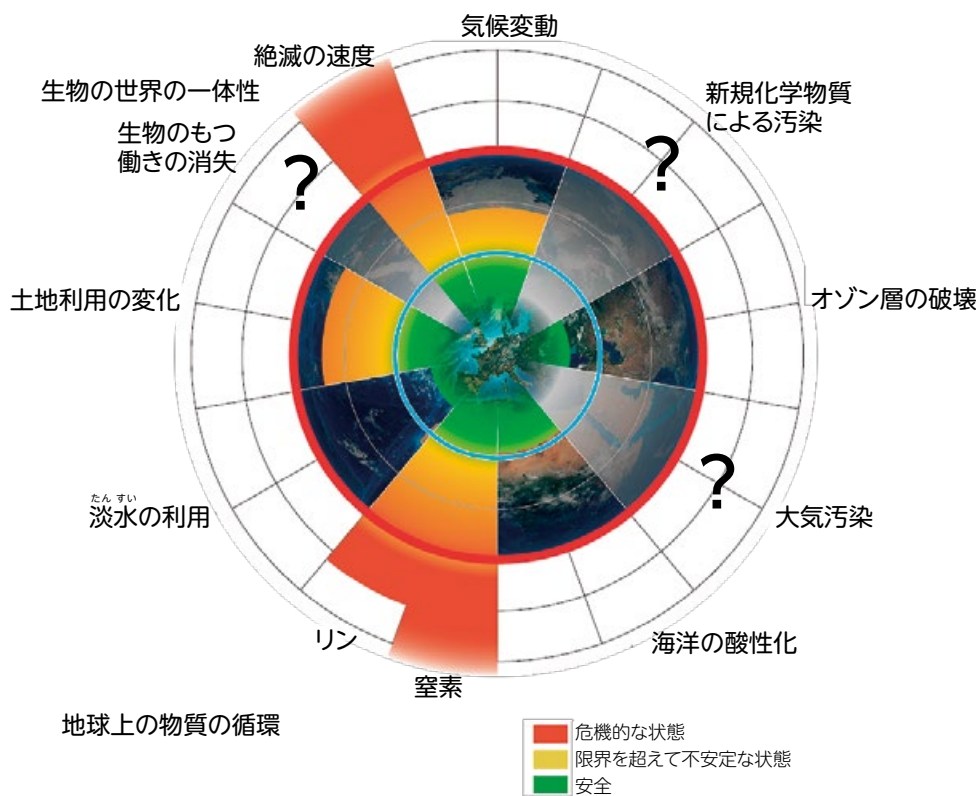
わたしたちの未来は大丈夫？

世界人口は70億人を突破し、2050年には98億人に達すると予測されています。人口が増えれば増えるほど、人間の活動による地球環境への負担が大きくなっていきます。わたしたちが大人になるころ、地球はどうなってしまうのでしょうか。そして、地球上に住んでいる人たちは、どうなってしまうのでしょうか。

地球の限界

2015年、人間の活動が地球環境におよぼす影響を評価した研究が発表されました。この研究では、地球環境の維持に不可欠な9つの分野を分析し、どれだけ危機的な状況かを示しています。

例えば、世界の人口が増加する中、農作物の収穫量を上げるために肥料を大量に使うようになった結果、肥料の成分(窒素やリンなど)の一部は農作物に取りこまれますが、多くは土に残ったり、川や海に流れ出したりします。これによって川や海の水質が悪化し、漁業などに悪い影響をあたえる場合があります。その結果、窒素やリンについては、地球がたえられない負荷の許容量をこえている、と考えられています。このように、人間社会を便利に、豊かにしようとして使ったものが原因で環境が悪化し、結果的に人間社会に悪い影響をもたらすということが実際に起きています。また、その悪い影響は取り返しのつかないことになるかもしれないのです。



資料：Will Steffen et al. (2015) 「Guiding human development on a changing planet」